



クラブ会長あいさつ ■



国際ロータリー第 2580地区
宜野湾ロータリークラブ
2021-22年度 会長 宮城 富夫

クラブテーマ:「不易流行」の実践で、ロータリー活動の充実を!

基本方針;

本年度のシェカール・メータRI会長は、「奉仕するとき、誰かの人生だけでなく自分の人生も豊かになる」、「人びとの世話をし、奉仕することこそ、人生の最高の生き方」と述べ、奉仕プロジェクトへの積極的な参加を会員に呼びかけています。

RIテーマを、「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」と。

若林英博地区ガバナーは、RI会長テーマの実践目標として、「世界で、日本で、地域で、良いことをしよう」と地区ビジョンを掲げております。5つの具体的項目を前掲のガバナー挨拶の中で示しています。

このテーマ、ビジョンは、ロータリーの「奉仕の理想」を基本に、且つ、コロナ19禍も含めて新しい時代にあったロータリー活動が要求されていると捉え、

宜野湾RCにおいても、以上を念頭に置いて、ロータリーの理念とする「超我の奉仕」を実践する意味からも積極的に取り組み、見える効果として発揮しなければならないと思料しています。

さて、このような情勢もあり、私の年度の具体的方針として、例会のあり方を思考しながら、各種プロジェクト、プログラムを支援して行きたいと考えています。

1. 先ず、Webの活用です。Zoom等オンライン併用のハイブリッド例会の開催等、これを機会にICTの利活用をもって会員の新時代気運を高めたい。
2. 社会ニーズにあった奉仕活動、ロータリーデーの開催とタイアップしたロータリーの公共イメージ向上に強力に取り組みたい。
3. 社会的弱者救済もさることながら、青少年育成事業のYEP、RYLAへの積極的支援、ローターアクトクラブ等の再結成、提唱を図りたい。

これらの取り組み活動の主な目安、指針を委員会ごとに別途に掲げますので、参考にして実践してください。

以上をご理解頂きまして、1年間よろしくご協力賜りますようお願い申し上げます。